

鵜沼地区郷土づくり推進会議 主催

福祉啓発講演会

認知症本人も、
家族も、地域も、
ともに笑顔で
生きられる
まちへ

認知症になっても、 このまちで暮らしたい

～かながわオレンジ大使とともに考える 新しい認知症観～



参加無料

定員100名
(予約制)

2026年 **11月3日** (火・祝)
10:00～12:00 (開場 9:30)

会場

鵜沼市民センター
くげぬまセットホール
(藤沢市鵜沼海岸 2-10-34)

本人の声を聴き、
語り合い、つながる
あたたかい時間を
一緒に。

プログラム予定

第一部 テーマ『私らしく生きる（新しい認知症観）』

かながわオレンジ大使の活動紹介 + オレンジバンドの演奏

第二部 テーマ『認知症になっても このまちで暮らすには？』

当事者がグループに加わりテーマについて話し合います

認知症サポーター養成講座



本講演会を受講された方には
認知症サポーターの証として
オレンジバッジをお渡しします

対象 どなたでも 参加費 無料

【申込方法】 締切10月28日

電話 または QR (フォームから) →



①名前 ②電話 ③属性 ④お住まい など伺います

主催 鵜沼地区郷土づくり推進会議 協力 神奈川県

事務局 鵜沼市民センター 地域づくり担当 ☎0466-33-2001 fj-kuge-k@city.fujisawa.lg.jp

登壇予定の『かながわオレンジ大使』

松浦 謙一 氏

横須賀市 70歳 レビー小体型認知症（診断された時期 63歳頃）

認知症の正しい知識を知って頂きたいことから、かながわオレンジ大使として活動。「おもしろおかしく正しい認知症を知って頂き、認知症になっても楽しめる人生があることを伝えていきたい」



伊藤 敬子 氏

横須賀市 76歳 アルツハイマー型認知症（診断された時期 60歳頃）

地元でオレンジカフェ立上げに向けて話しあってきた。「オレンジフェスタ等でコラージュワークショップをして制作する楽しさを伝えたい。これからも初期の段階でつながる大切さを伝えたい。」



さとう けいこ 氏

横須賀市 56歳 アルツハイマー型認知症（診断された時期 53歳頃）

「認知症になったらもう終わりと思う人は多いかもしれませんが、認知症になっても大丈夫」ということを伝えていきたい。家族や近所の方々の力を借りながら、楽しく暮らしています。



肥沼 真一 氏

横浜市 64歳 アルツハイマー型認知症（診断された時期 61歳頃）

市民セクターよこはま「まちかどピクチャーズ」に参加「認知症当事者として、自分の気持ちを綴った「たぬきの十二戒」をお話したい。また同じ認知症の方とコラボしたいです。」



内田 利樹 氏

鎌倉市61歳 アルツハイマー型認知症。認知症になる前は百貨店に勤務して、インテリアショップを経営していました。「認知症になってからの自分の変化を伝えたい。病気への理解を深めてもらいたい。認知症当事者の方と交流したい。」

※大使らの年齢は2026年3月末日時点



鵜沼地区郷土づくり推進会議とは？

誰もが安心して暮らせる鵜沼づくりのために「気づき・見守り・つながり」を活動テーマに

鵜沼地区内の地域団体と公募委員が 地域の課題解決や魅力を高める様々な取り組みなどを行っています



くげぬまグリーンコンサート



まちづくりミーティング



夏のデイトリップ・施設見学